

- 1 審議会名 丸子地域協議会
- 2 日 時 平成26年10月29日(水) 午後1時30分から午後4時55分頃まで
- 3 会 場 丸子地域自治センター 4階 講堂
- 4 出席者 齋藤重一郎会長、丸山かず子副会長、池田佐代子委員、今井利樹委員、  
内田弘子委員、小澤厚委員、工藤裕子委員、久保田和英委員、後藤有希委員、  
佐藤重喜委員、清水三枝委員、下村晴一委員、関本吉人委員、竹花光彦委員、  
塚越洋子委員、宮下正明委員、吉池美智恵委員  
【欠席委員3名】
- 5 市側出席者 片山丸子地域自治センター長、芹澤丸子地域自治センター次長兼地域振興課長、  
北沢丸子地域教育事務所長兼地域政策課政策幹、清水市民生活課長、  
高野健康福祉課長、芦田建設課長、滝沢上下水道課長、  
矢島丸子学校給食センター所長、小相沢産業観光課課長補佐兼商工観光係長、  
(事務局)翠川地域政策担当係長、清水統括主査、中山主査、竹花主査  
(説明者：都市建設部都市計画課)(説明時のみ出席)三浦都市計画課長、  
金井調査計画担当係長、久保技師
- 6 公開・非公開等の別 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
- 7 傍聴者 1人 記者 2人
- 8 会議概要作成年月日 平成26年11月17日

協議事項等

- 1 開 会 (芹澤センター次長)
- 2 会長あいさつ
- 3 平成26年度わがまち魅力アップ応援事業(第3回募集分)選考審査  
会長・副会長も審査員となるため席を移動
- (1) 応募団体による事業説明 説明10分 質疑応答5分  
**尾野山史跡めぐり協議会 事業名：尾野山史跡めぐり遊歩道の整備**  
信州音楽村を基点とした3ルートの尾野山史跡めぐりの遊歩道整備。  
・プレゼンテーション後の主な質問・意見  
(委員) わくわくするようないい計画。イベントとのタイアップという事であるが、音楽村周辺の駐車場の問題はどのように考えているか。  
(説明者) イベントといっても、そんなに大きなイベントではない。ラベンダーまつりやすいせんまつりなど。  
(委員) 「真田丸」にあわせたPRも検討。  
(説明者) 尾野山も歴史は古く、武田信玄から始まり、真田、そして最終的には徳川の天領地。このあたりも含めて、真田丸の流れに乗ったらいいかと思う。  
(委員) イベント時にまりんこ号利用についての案内も入れていただきたい。もう1点、土地所有者の了解は取れているか。  
(説明者) メガソーラーの土地所有者とは未接触。自治会内にも一人二人は躊躇する方あり。了承を得るべく内容を説明する。  
(委員) 作成するパンフレット配布先は。今後、観光ルートとして鹿教湯観光協会等などとの連携は。  
(説明者) パンフレットの置き場所は、当面は信州国際音楽村。今後、自治センターも検討。  
(説明者はここで退室。)
- 石井樹木を守る会 事業名：石井自治会内の樹木の保存と育成事業**  
石井神社内の2本の榎の保護事業。同時に石井自治会内の樹木管理。  
・プレゼンテーション後の主な質問・意見  
(委員) 石井神社の境内の榎、政教分離の関係について自治センターにお伺いしたい。参道も含めてよいか。

(行政) 地域住民や地区が一体となって管理してきた古くからある神社であり、宗教を目的とした事業内容や活動ではないので問題ないとの解釈。

(委員) 子育ての観点から、遊具の整備とか遊ぶ場所の整備も出来ましたら一緒に考えていただきたい。

( 説明者はここで退室。)

#### **腰越自治会 事業名：腰越馬坂橋サクラ堤防保存会**

馬坂橋のサクラ堤防の景観保護事業。景観に合せた自然土舗装。

・プレゼンテーション後の主な質問・意見

(委員) 行政に依頼して舗装したほうがいいのではないか。

(委員) 舗装材を市から支給してもらい、自治会で自営舗装することも可能。

(説明者) 木に負担をかけないような堤防舗装をしたい。景観、デザインも考えたい。

(委員) 自治会内での事業継続性をしっかりと。

( 説明者はここで退室。)

#### **開始からここまで50分程度の経過**

### **(2) 選考審査【非公開】**

報道関係者及び傍聴人は非公開のため録音を停止し、一時退席

非公開につき会議の記録を省略

**協議会再開：報告事項の開始時刻 15:05 頃 ~ (報道関係者・傍聴人の再入場許可)**

**一部会議次第順を変更し、都市建設部都市計画課からの報告事項を先に行う。**

### **5 報告事項**

#### **(1) 都市計画マスタープラン策定及び都市計画道路の見直しについて**

・上田市の都市計画に関する基本的方針である上田市都市計画マスタープランを作成するにあたり、現段階での素案をこの9月に審議会に報告し、9地域の地域協議会に説明後、12月予定の市民説明会、パブリックコメントで意見募集等を行い年度末を目標に策定したい。市のマスタープランは、県が策定した広域マスタープランや現在進めている市の総合計画(第2次)とも連携を図って策定。

・都市計画道路とその他の一般の道路の決定的なちがいは、都市計画法第53条により都市計画道路が計画された区域に建築制限がかかる。都市計画道路の現状については、上田地域で25路線、丸子地域で16路線、計41路線で約120kmが計画されている。平成12年に国の方針が変わり、条件が変わり必要性がなくなった道路については見直しをする方針に。平成18年には、都市計画道路見直し指針。上田市においても、平成21年から都市計画道路の見直し作業に着手した経緯がある。

・廃止の手続きを先行してやっていきたい。変更路線については、事業化されたときに変更を行う予定。来年度以降は、出来るところの路線から詳細な調査をして廃止の法手続に入る。等を説明。

・12月中旬に丸子地域でも住民説明会を行う。

・以降、協議

(委員) 大屋の渋滞は、マスタープランとどのように係わるか。

(行政) この位置付けについては、資料p8図面、国道18号から下のほうに赤色の丸のラインが記されていますが、国道152号丸子バイパスの整備で、市としても渋滞が課題だと考えているので、県と事業の着手に向けて調整している。

(委員) 上田環状線と国道152号線の混雑問題は、どちらを先と考えているか。県では上田環状線は夢物語と考えられているようだが。

(行政) 実際に、都市環状線構想はある。ただ、現実性に議論の余地がある。152号線の渋滞には、もう1本の橋というのが現実的かもしれない。

(行政) 18号バイパスまでと、丸子東部インター線から、まずは繋げてほしい。これは丸子地域、武石地域、依田窪地域の絶対の要望。152号とそれに接続する道路が課題である。小牧線へ通勤通学の車を逃すために、今、丸子小牧線と上田塩川線の交差点改良中。

(委員) 千曲ビューラインから塩田へ向う道が非常に混雑。市では、南原から東山にかけて工業地帯、研究地帯とか大きな規模で地盤わけをしているがこのことが全然加味されていない。飯沼地区の農業道路、北原地区の細い民家の道まで、渋滞に巻き込まれた車がさかんに通る。鴻之巣を通過して飯沼の方へ山沿いを通って抜けられる道路を通していただければかなり緩和するだろう。

**都市計画課説明終了後約5分間、魅力アップ応援事業の審査を継続。(非公開)**

**3件ともに採択。応募事業にかかる委員からの意見・要望・コメント等数点あり。事務局より団体へ通知する旨が伝えられる。**

#### 4 協議事項 16:00 頃～

##### (1) 不燃ごみ3分別モデル事業に関するアンケートの結果と今後の方向性について

・3分別には不燃物の排出抑制に一定の効果がある。一括排出方式とした場合、選別処理費が約120万円ほど増加することが予測されるが、丸子地域自治センターとしては、アンケートの御意見を踏まえ、「不燃ごみ3分別モデル事業」を廃止し、一括排出方式を実施する方向で考えている。

・アンケートは、3分別廃止にかかる御意見をお聞きし、市の意思決定の参考にさせていただくもの。アンケート結果は、26自治会と丸子女性団体連絡協議会の計27団体中、3分別廃止賛成が17団体(前回は16団体)、反対は7団体(前回は8団体)、その他は3団体(前回は3団体)。

・3分別廃止に対する賛成意見・見解としては、3分別がわかり難い、手間がかかる、高齢者世帯にはわかり難いし、今後、単身高齢者も増える。住民負担の軽減と公平化を図る必要がある。

・3分別廃止に対する反対意見・見解としては、モデル事業は排出抑制により、中間処理費用、最終処分費用を安くおさえ最終処分場の延命化に寄与している。3分別は既に定着し、住民の減量化の意識を高めている。分別には何の抵抗も無い。など。

・以降、協議

(委員)市の考え方の記載に、最終処分場の延命化と最終処分費用を安く抑えることに寄与しているとある。3分別は、住民の意識の中に、いろいろな環境意識を培う。市は、そういうことを意識して住民に話していくべき。

(会長)アンケート結果は27団体中、廃止賛成が17団体である。今回、市も方向性を出すというなかで、ごみの分別と減量化に対して意識をしっかりとっていただきながら、市の考えに統一したい。

\*会長の投げかけに対し、異議なしとの声。協議会として市の方向性を承認。

(委員)この問題には廃止反対意見もある。3分別廃止をすすめるにあたって、住民に説明して周知していく予定か。

(行政)全自治会対象に自治会説明会を計画している。

(委員)3分別廃止のタイムスケジュールは。

(行政)事務の都合も考え、出来れば平成27年4月1日から行いたい。

##### (2) 市民活動団体交流会の実施について

・開催することを確認。2月22日(日)開催を決定。実行委員会立ち上げについては次回以降に。

#### 5 報告事項 16:23 頃～

(1) 都市計画マスタープラン策定及び都市計画道路の見直しについて、は協議事項前に次第変更

##### (2) 分科会及び研究会での検討状況について

(ア) 丸子地域の子育て支援に関する分科会

・10月10日に分科会開催。9月12,16日の子育てサロン、支援センター視察の考察を行った。

(イ) 公共交通に関する分科会

・まりんこ号のラッピング、3月までにはお披露目、運行開始したい。

・計5回の乗降調査結果が出たので、次回以降の分科会で検討。

(ロ) 新しい観光に関する分科会

・報告内容なし

#### 6 その他

##### (1) 移動市長室(丸子地域12月9日)の実施について

・丸子地域自治センターの市長室を中心に、10時から4時の間で実施予定

##### (2) 第28回上田市丸子地域消費生活展(11月15日)について

・平成26年11月15日(土)の午前9時から午後3時まで。丸子文化会館小ホール。

今年度のテーマは、「限りある資源を有効に～節電・節水・食のムダ～」

##### (3) ふれあい・人権の集い2014について(12月9日)

・毎年12月の人権週間に開催、今年で42回目。今年は12月9日(火)。午後6時15分第1部は、人権啓発作品の発表。第2部は人権講演会(講師に原田泰治先生)

##### (4) 地域協議会研修会【講演会】(11月14日)の中止について 講師の体調不良により

##### (5) 自治センター4階講堂の紅葉観賞一般開放について

・【10月】27、28、30、31日【11月】4、5、7、10、11日 午前9時～午後4時まで

( 6 ) 次回以降の会議日程について

第 8 回協議会 11 月 27 日 ( 木 )      第 9 回協議会 12 月 19 日 ( 金 )

午後 1 時 3 0 分 丸子地域自治センター 4 階講堂

( 7 ) その他

- ・下長瀬自治会より「長瀬地域ふれあい交流会」の村松正孝氏の講演会「騒乱の地 中東とシリア」の紹介。
- ・第 55 回丸子地域駅伝大会について 11 月 9 日 ( 日 ) 午後 10 時スタート。
- ・第 33 回丸子四季の里総合文化祭について  
10 月 23 日 ( 木 ) ~ 11 月 2 日 ( 日 ) 場所 : 丸子文化会館
- ・内村っ娘の会「NHK きょうの料理クッキングコンテスト 2014」決勝戦出場決定について  
「じもと盛り上げ料理部門」に鹿肉を使ったレシピ応募したところ、全国 800 の応募の中から決勝戦出場の 2 団体に選ばれた。
- ・丸子地域協議会だよりの発行について : 発行する方向で事務局と調整することを決定。
- ・栃木市岩舟支所の地域協議会の丸子地域協議会への視察 ( 11 月 27 日 ) について  
当日は正副会長で午前中に対応いただく。魅力アップ応援事業の視察希望は事務局で対応。

7 閉会 ( 16:55 終了 )

全体会終了後、第 2 会議室において地域経営会議設立検討会の開催予定であったが、全体会の遅延のため取りやめ。資料を配布し、概要説明を行なったうえ、次回会議までに電話等で意見を受けつけることとなった。

\* 分科会の開催はなし